

令和3年度 自己評価・学校関係者評価報告書

学校法人 東京音楽学院
諏訪幼稚園

1. 園の教育目標

園生活を通じて、素直で明るい子、元気な子、ひらめきのある子を育てる。

2. 本年度の重点的に取り組むことが必要な目標

幼稚園に対する時代の要請が日々変化していく中、的確に保護者のニーズに対応しつつ、全教職員が客観的に自園を見る目を養い、当園の教育目標に対し邁進する。評価項目に沿って自己点検、自己評価を実施することによって、教師自らが教育内容の改善に主体的に取り組んでいくことを重点項目とする。

3. 評価項目の達成及び取組み状況

評価項目	評価	取組み状況
幼稚園の教育方針を踏まえ、園の教育目標を理解し、共感し、教師間で互いの保育について話し合い、評価・反省をして次の保育に生かしている	A	幼児を自分の一方的な感じ方や考え方で決めつけないように、また、善悪の判断、いたわり、思いやりなどの道徳性を培う上でも教師自身がモデルとなるよう努めている。
個々の行事について、幼児の発達を考えながら実施し、子どもの実態やねらい等について教職員同士で話し合い、見直しを行なっている。	A	幼児が様々な表現を楽しみ、表現する意欲を十分に発揮させることができるよう環境を整えている。また、ねらいや内容について、保護者に分かりやすく伝えるよう工夫している。
新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に努め子どもや家族、教職員が安全・安心して幼稚園生活が過ごせるよう努めている	A	園児及びご家族の健康観察(検温・体調)の徹底、マスクの着用、手指消毒や昼食時の仕切り、玩具の消毒等をしっかり行うと共に、教職員自身の体調管理も徹底して行う。また、園からの情報発信体制を整えている。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	理由
A	教師一人ひとりが学校評価の主旨を理解し、各自適切に自己点検、自己評価に取り組んでいる様子が見られた。今後も幼児のことについて常に教職員間で話し合い、クラス、学年をこえて情報を共有していき、客観的な目で自らの教育、保育を振り返り、更に充実した実践ができるように努力を積み重ねている。 感染症対策では換気や消毒、自身の健康管理にも注意している。消毒等も継続し、子ども達が安心、安全に遊べる環境になるように努力しており、概ね目標を達成できた。

5. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取組み方法
情報公開の方法	「れんらくアプリ」を用いて在園児保護者への周知は迅速に行うように心がけているが、一般の方にもわかりやすい情報公開として、ホームページなどの活用もより強化していく。
教職員間の情報共有	園の教育・保育のねらいや内容についてだけでなく、幼児のことについても含め教職員間の情報共有、連携をさらに密にして、安全・安心して園生活が過ごせるように工夫していく。
預かり保育の充実	新教育要領に基づき、園で過ごす時間が長くなる預かり保育の子どもたちが充実して生活できる環境をつくり、園を取り巻く環境や子どもの実態を考慮して指導計画の編成、預かり保育の充実に取り組んでいく。

6. 学校関係者評価委員会の意見

今年度は委員会を1回実施した。委員からは「幼稚園として概ね良好な運営がなされ、また、学校評価にも積極的に取り組まれている。」という意見をいただいた。